

老人保健からのお知らせ

増加する老人保健医療費

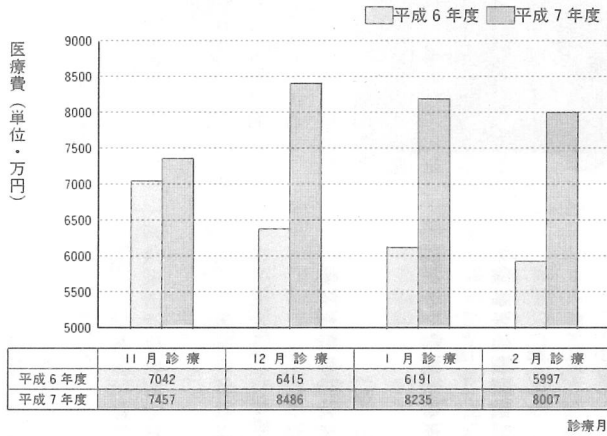
広報10月号で、横芝町老人保健特別会計の平成7年度における決算状況を掲載しましたが、昨年は11月以降の医療費が急に伸びたため、歳入が歳出に対し不足する結果となりました。

今月号では、医療費が急激に増えた要因と、今後の老人保健制度について考えてみたいと思います。

医療費が増加する要因

左表(グラフ1)は、当町幅に増加しています。における平成6年度と平成7年度の11月から2月までの老人医療費を比較したものです。表のように平成7年度は前年に比べると大

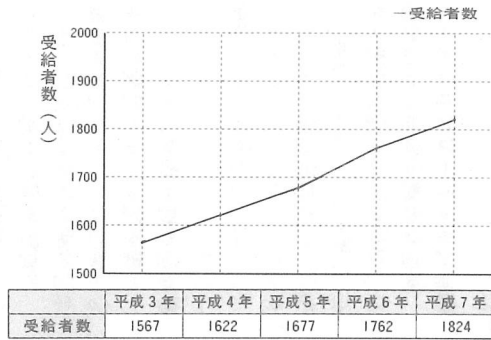
〈グラフ1〉
横芝町の老人医療費比較(6年度～7年度)
11月診療から2月診療まで



この「老人保健」制度により、お年寄りのみなさんが医療機関の窓口で支払う一部負担金は、通院で1ヵ月1,020円、入院で1日710円ですが、そのほかのなかった医療費は国・県・町・社会保険支基金などから支払われます。

みなさんが、安心して医療を受けられる「老人保健」制度を、一人一人が健康づくりや上手な受診を心がけ、医療費を有効に使ってほしい。

〈グラフ2〉
横芝町における老人保健医療受給者数
平成3年度から平成7年度まで



横芝町の老人保健医療受給者の増加数を示したものが左表(グラフ2)です。受給者数(社保老人も含む)は、平成3年度から平成7年度までの5年間で約250人増えており、平成9年度末には2,000人に達する見込みです。

文芸

俳句

並びゆく園児の黄帽紅葉晴れ
戸村 静華

山寺や法話聞く間の紅葉冷え
斉藤 正吾

思い出を手帳にはさむ木曾紅葉
福田 幸子

秋灯す峠茶屋見ゆ路遠し
岡田 江涯

木曾節の歌声高き紅葉宿
福田 晴一

秋灯下地球儀廻す子の未来
渡部 和秋

水ぎわに燃ゆる紅葉や多摩の湖
土屋 栗水

池いっぱい写りあふれて紅葉山
小林 順子

埴輪目のいつもやさしや秋灯下
藤代 ゆう

秋灯下繕い物や母老けて
若梅あやめ

瀧しぶき紅葉濡らして散らしけり
鈴木 草庵

路地裏の人影もなき秋の灯よ
今関 茂生

晩学の身に秋燈を低く寄せ
玉虫たけし

紅葉溪汽車渡るとき笛二声
選者 山口 一秋

短歌

思ひきり空に背伸びをせしとたん

執りし胃の辺のきりきり痛し
掛川 友代

ほとばしる母乳にむせしか嬰兒は
乳房を離し大きく息す
佐瀬 初音

じいちゃんはずつとなさいと小走り
に運んで呉れるバイキング料理
斉藤 秀男

夜の更けの自販機は灯りに浮きた
ちて並べしものをカラフルに見す
宇井 ちい

妻病めばけさは厨に吾が立ちて青
き匂ひのキャベツをほどこく
永藤 滋

「食べすぎに注意」と書きしメモも
添へ父に送れりし判のシャツ
八角 三枝

大空に月冴え渡り中秋の庭にほそ
ぼそとこほろぎの鳴く
秋葉 とく

老いと言ふひげ目がふとも胸よぎ
り談笑の中に我は黙せり
吉岡 信子

嫁と共に昨夜むきたる栗の実の栗
飯となり厨に匂ふ
向後 房

川の面にうつる我が影おきざりに
橋の下辺の水は流れる
萩原 信一

語りたきことをいっばい胸につめ
湯治に出かける友待つ町に
池田 春江

高梯子の上に一瞬逆立てる獅子の
歯光る秋の日の中
選者 斎藤つね子